

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場会社名 ナノキャリア株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4571 URL <http://www.nanocarrier.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 中富 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長兼社長室長 (氏名) 中塚 琢磨 (TEL) (03) 3548-0217  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	149	—	△277	—	△190	—	△191	—
25年3月期第1四半期	9	220.1	△178	—	△179	—	△180	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第1四半期	△585.91		—					
25年3月期第1四半期	△765.01		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,630	—	4,422	—	77.6	—
25年3月期	5,606	—	4,400	—	77.6	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,367百万円 25年3月期 4,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297	79.7	△1,238	—	△1,240	—	△1,262	—	△3,870.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期1Q	332,077株	25年3月期	325,307株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	—株	25年3月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期1Q	326,071株	25年3月期1Q	235,318株
----------	----------	----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間において、当社は、主要パイプラインの開発推進、新規開発パイプラインの拡充、提携先の開拓などに取り組んでまいりました。

4つの主要パイプラインの進捗状況は下記のとおりです。

パクリタキセルミセル (NK105) につきましては、アジア地域を対象としたライセンス先である日本化薬株式会社が転移・再発乳がんを適用対象にした第Ⅲ相臨床試験（国際共同試験）を平成24年7月から開始し、順調に進捗しております。

ナノプラチン® (NC-6004) につきましては、グローバル開発を推進しており、アジア地域（日本、中国、インドを除き、オセアニアを含む）を対象としたライセンス先であるOrient Europharma Co., Ltd. (OEP) とともに、平成25年6月に転移性及び進行性膵臓がんに対する第Ⅲ相臨床試験のプロトコルを台湾当局に提出しており、臨床試験に入ります。また、日本国内においては自社開発を進めている固形がんを対象にした第Ⅰ相臨床試験が進捗中であり、さらに、米国において平成25年6月に肺がん（非小細胞肺がん）を対象とする拡大臨床試験（PⅠb/Ⅱ）の治験計画届書を提出しており、3地域で3種の臨床試験を同時並行で進めていく計画です。

ダハプラチン誘導体ミセル (NC-4016) につきましては、平成25年5月に、固形がんを対象に米国における第Ⅰ相臨床試験の治験計画届書を提出し、米国テキサス大学MD Andersonにおいて、近々臨床試験に着手する予定です。

エピルビシンミセル (NC-6300/K-912 : pH応答性ミセル) につきましては、全世界を対象にしたライセンス及び共同開発契約を締結している興和株式会社とともに非臨床試験、治験薬の製造等を推進した結果、平成25年5月に第Ⅰ相臨床試験実施のための治験届を行い、投与開始に向け準備を進めております。

新規開発パイプラインについては、低分子医薬品に加え、タンパク質、核酸等の高分子医薬品も対象に、国内外の研究機関や製薬企業と共同研究やフィージビリティ・スタディ (FS) を実施しており、平成25年5月、新たにRegulus Therapeutics Inc. (米国) とマイクロRNA治療薬に関するFSを開始し、核酸デリバリー用ミセルについてもプロトタイプ確立に成功しました。この他、ドセタキセルや分子標的薬ベルケイド® (ボルテゾミブ) のミセル化医薬品開発やセンサー結合型ミセル (Active-Targeting) などについても継続して自社研究を進めております。

当第1四半期累計期間の売上高は、興和株式会社からのライセンス及び共同開発契約に基づくマイルストーン収入や株式会社アルビオンとの共同開発契約に基づく化粧品材料の供給等により149,946千円（前第1四半期売上高9,799千円）、研究開発を推進したことにより営業損失は277,353千円（前第1四半期営業損失178,740千円）、円安傾向から保有する外貨預金の評価替による為替差益94,656千円を計上したこと等により経常損失は190,444千円（前第1四半期経常損失179,415千円）、四半期純損失は191,049千円（前第1四半期四半期純損失180,020千円）となりました。

資金調達に関しましては、当第1四半期累計期間における新株予約権の行使請求に伴う6,770株の新株発行により、204,336千円を調達いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ24,348千円増加し、5,630,459千円となりました。これは主に売掛金の増加等によるものです。負債につきましては、前事業年度末に比べ2,662千円増加し、1,207,775千円となりました。これは主に未払金の増加等によるものです。純資産につきましては、前事業年度末に比べ21,686千円増加し、4,422,684千円となりました。これは主に、新株予約権の行使請求に伴う新株発行による資本金及び資本剰余金の増加が、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少を上回ったことによるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度（平成26年3月期）の業績予想につきましては、興和株式会社、OEPとのライセンス及び共同開発契約に基づくマイルストーン収入、製剤供給収入並びに株式会社アルビオンとの共同開発契約に基づく化粧品材料供給収入等により、売上高は297百万円（前事業年度比20%減）、営業損失は1,238百万円（前事業年度営業損失526百万円）、経常損失は1,240百万円（前事業年度経常損失432百万円）、当期純損失は1,262百万円（前事業年度当期純損失484百万円）を見込んでおり、平成25年5月13日の「平成25年3月期決算短信（非連結）」で公表した通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,050,337	5,019,327
受取手形及び売掛金	5,213	46,795
有価証券	105,115	105,129
原材料及び貯蔵品	180,711	165,388
その他	131,894	143,440
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	5,473,247	5,480,057
固定資産		
有形固定資産	18,529	35,515
無形固定資産	418	409
投資その他の資産	113,916	114,477
固定資産合計	132,863	150,402
資産合計	5,606,111	5,630,459
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	50,100	9,217
未払法人税等	15,895	5,907
資産除去債務	—	15,810
1年内償還予定転換社債型新株予約権付社債	—	180,000
その他	83,309	136,839
流動負債合計	149,306	347,775
固定負債		
資産除去債務	15,806	—
転換社債型新株予約権付社債	1,040,000	860,000
固定負債合計	1,055,806	860,000
負債合計	1,205,112	1,207,775
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,081,181	5,184,001
資本剰余金	5,062,382	5,165,201
利益剰余金	△5,790,568	△5,981,618
株主資本合計	4,352,995	4,367,584
新株予約権	48,003	55,100
純資産合計	4,400,998	4,422,684
負債純資産合計	5,606,111	5,630,459

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,799	149,946
売上原価	39,525	52,143
売上総利益又は売上総損失(△)	△29,725	97,803
販売費及び一般管理費	149,014	375,157
営業損失(△)	△178,740	△277,353
営業外収益		
受取利息	431	454
為替差益	0	94,656
その他	20	182
営業外収益合計	451	95,293
営業外費用		
株式交付費	291	4,945
新株予約権発行費	835	3,400
その他	—	39
営業外費用合計	1,127	8,384
経常損失(△)	△179,415	△190,444
税引前四半期純損失(△)	△179,415	△190,444
法人税等合計	605	605
四半期純損失(△)	△180,020	△191,049

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期累計期間において、新株予約権(第2回(は)(ほ)、第3回(い)、第4回(い)、第8回)の行使請求に伴い新株式6,770株の発行を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が102,820千円、資本準備金が102,818千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が5,184,001千円、資本準備金が5,165,201千円となっております。

(重要な後発事象)

新株予約権の行使による株式の発行

平成25年7月1日及び平成25年7月2日に、株式会社ウィズ・パートナーズが無限責任組合員として組成する投資事業有限責任組合の保有する第8回新株予約権の未行使残数の全て(13,000株)について、権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概要は以下のとおりであります。

(1) 発行した株式の種類及び数	普通株式 13,000株
(2) 発行価額	1株につき30,000円
(3) 発行価額の総額	390,000,000円
(4) 資本組入額	1株につき15,000円